

廿日市市景況調査

(2020年4～6月)

◇平成17年11月の市町村合併後は、旧廿日市市(合併後の区域)の調査結果になります◇

全国の6月景況「業況DIは、下げ止まりの兆しも、厳しい状況続く。先行きも慎重な見方は

全産業合計の業況DIは▲62.8(前月比+3.0ポイント)。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の解除を受け、営業を再開した小売業・飲食業などで客足が戻りつつあるほか、中断していた公共工事に再開の動きが出始めるなど、一部で下げ止まりの兆しがみられる。一方で、依然として遠出を避ける消費者が多く、宿泊業をはじめとする観光関連では低調な動きが続く。また、製造業では、取引先の過剰在庫や生産調整に伴う受注減に加え、緊急事態宣言下の営業自粛によるビジネスチャンスの喪失など、前月に増して悪影響が拡大しているとの指摘も多く聞かれており、中小企業の景況感は持ち直しの兆しはみられるものの、厳しい状況が続く。ただし、経営が厳しい中でも「従業員の人員整理を検討・実施」は約4%と4月調査に続き、低水準にとどまった。新型コロナウイルスによる経営への影響が長期化する中、雇用調整助成金等を活用しながら、雇用を守ろうとする中小企業の姿勢がうかがえる。

会議所管内の4～6月景況「新型コロナウイルスによる経済への影響が顕著化」

新型コロナウイルスの流行による緊急事態宣言により、外出自粛やイベント中止の影響を受けたり、休業に至った業種もあり、全産業売上は、前年比▲72.7と大幅にマイナスとなった。当面の問題点第一は、売上、需要の停滞が約半数を占めている。全業種総合業況は、前年比▲63.6で、全国の総合業況(▲63.8)とほぼ同等の結果となった。業種別では、飲食・サービス業、卸小売業が特にマイナス数値をたたき出しており、次に製造業となっている。調査時点では、向こう3か月(7～9月)の先行き見通しは、全産業合計の総合業況DIが▲31.8と前回調査(▲41.7)より上回っており、若干の持ち直しへの期待が感じられる。しかしながら、新型コロナウイルスによる経済への影響や見通しを立てるには難しい状況が予想される。

以下、産業別の各事業所から寄せられた景気動向の要因や今後の課題や重点事項など。

【製造業】	『売上の減少』『高級品の需要の減退が徐々に売り上げの減少につながっている』
【建設業】	『受注の減少』
【卸小売業】	『新型コロナの影響』『民間需要の減退』『新型コロナによる外出自粛』『店員の教育や客先への恩を売り、関係を築くこと』
【飲食・サービス業】	『新型コロナの影響』『客数の大幅な減少』『コロナによる世界経済の不調』『客数増、新規顧客開拓、顧客満足度の向上』『4月から約2週間、在宅ワークを中心に運営が違和感なくできたことで今後の働き方を変えていく見直しをしている。』

業種別景況概要	全国(6月)		廿日市 4～6 月と先行き見通し									
	全産業		全産業		製造業		建設業		卸小売業		飲食・サービス業	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
収入・売上	▲ 61.1	▲ 56.2	▲ 72.7	▲ 59.1	▲ 85.7	▲ 57.1	33.3	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 60.0	▲ 85.7	▲ 57.1
採算	▲ 59.6	▲ 55.1	▲ 72.7	▲ 40.9	▲ 71.4	▲ 28.6	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 60.0	▲ 85.7	▲ 57.1
仕入価格	▲ 16.8	▲ 18.8	9.1	4.5	14.3	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3
雇用人員	▲ 21.1	▲ 0.4	▲ 4.5	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 42.9	▲ 28.6
業況	▲ 62.8	▲ 57.7	▲ 63.6	▲ 31.8	▲ 42.9	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 40.0	▲ 85.7	▲ 57.1

※ 全国調査は【日本商工会議所LOBO調査】をご参照ください

(対象 67 社 回答 22 社)

●DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断状況を表す。ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上など実数値の上昇や下降を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
業況・採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

特に好調	$50 \leq DI$
好調	$25 \leq DI < 50$
まあまあ	$0 \leq DI < 25$
不振	$\blacktriangle 25 \leq DI < 0$
きわめて不振	$DI < \blacktriangle 25$

●設備投資は？

※複数回答・無回答あり

4～6月		7月～9月 見込み	
実施した	土地	1	0
	建物	0	1
	機械	5	4
	車両	4	2
	OA	2	2
	その他	0	0
	計	12	9
実施していない・しない		14	12

●当面の問題点は？

第1位	売上、需要の停滞	45.5 %
第2位	販売単価の低下、上昇難	10.7 %
第3位	消費者ニーズの変化の対応	8.3 %
第4位	従業員、人材の確保難	6.6 %
第5位	材料費、仕入価格の上昇	7.4 %

※回答の「その他」はランク外扱い

